



笑顔いっぱい

長子配付

令和5年度3月号

武雄市立武雄小学校 情報新聞

校長だより

文責 田崎 正剛



【学校教育目標】

学ぶことは楽しいことだと実感し、夢や志をもち、意欲的に取り組む児童の育成

【児童の合い言葉】

ふわふわことばと思いやり みんな にこにこ たけおっ子

はばたけ集会

インフルエンザの流行により、複数の学級閉鎖を行ったことで、2月24日（土）に開催する予定のはばたけ集会を29日（木）の午後に延期することとなりました。

はばたけ集会の目的は、次の学年にステップアップする意識づけと6年生に感謝の気持ちを表すことです。現在の学年での成長を劇や歌などの出し物として表します。また、様々なことで範を示し支えてくれた6年生に対して、感謝の気持ちを表します。

プログラムの最後は6年生の柄崎太鼓！！やはり何回見ても勇ましくかっこよくしなやかです。6年生は、あと半月で卒業となります。中学校に向かってさらにステップアップしてほしいと思います。

一輪車&椅子の寄贈

一輪車4台を「株式会社井上」様より寄贈していただきました。武雄小の卒業生でもある井上様は、武雄小の子どもたちが喜んでくれたらとのお気持ちを持っておられます。

体育館の椅子160客を育友会の方からいただきました。ふれあいマーケットの売上金から購入していただいています。見た目も座り心地もとても良い感じですよ。



また、青少年育成町民会議様からサプライズで贈り物をしていただける予定です。

感謝

コロナが5類になり、学校の授業や生活、様々な行事等が元に戻ろうとしています。

この1年間、武雄小の子どもたちのために多くの皆様に支えていただきました。育友会の方には、学年行事やふれあいフェスタ・マーケットで子どもたちの記憶に残る催し、地域の方には花まるタイムで〇つけ、花や野菜づくり。もちろん激励のお叱りも。

県内では、児童数の減少により小中学校が統合し、地元の学校がなくなってしまう地域もあります。地域で子どもたちの声が聞けることは、実は幸せです。これからもいろんなご支援をお願いします。

季節を感じて

全校朝会で季節の話をしました。日本は四季がありますので、昔は、年に4回節分の日があったそうです。もっと分かりやすく季節を表すために、太陽が出ている時間の長さにあわせて、約15日位でその頃の季節の名前があります。それが、二十四節気です。毎月2つずつの季節の日があります。3月は「啓蟄」と「春分」。啓蟄は、土から虫が出てくる季節、春分は春の分かれ目の季節。昔の人は、テレビなどなかったため、情報を太陽や生き物から得ていたんですね。